

7年目に入りました。
いつもお読みいただきありがとうございます。

U 協 近 畿 通 心 ～ U 協 を 使 い 倒 し ま し ょ う ～

【 は じ め に 】

近畿事業推進部の川畑です。

ゴールデンウィークがやってきましたね。今年は人流も多くなるのではないのでしょうか。感染爆発が起こらなければ良いなと思っています。もうGW真っ只中の方もいらっしゃるのではないのでしょうか。私は、法事があるため帰省します。

4月1日に電話対応コンクールの問題発表もあり、研修やトレーニングが始まっています。今年も全国大会が札幌ということで、例年より1カ月の前倒しスケジュールで支部の事務局長も大変ですが、頑張っています。

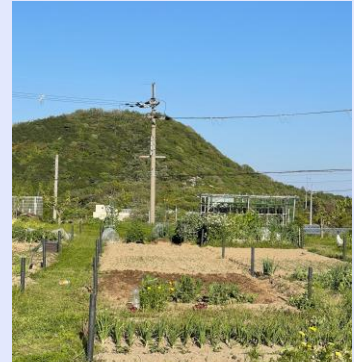
さて、先月いま話題のお絵描きムービーを使った「電話対応コンクール 社長 | N 居酒屋バージョン」動画を紹介しました。ご覧いただけましたでしょうか。

今回は、同じくお絵描きムービーを使った「企業電話対応コンテスト 社長さんのグッドアドバイス編」を紹介します。登場人物は、社長と秘書、そして取引先の社長の3人。

電話でのクレーム対応でお客様を怒らせ、落ち込んでいる社員に対して何かいい方法はないかと発言する社長。そこに秘書からの提案、さらに取引先の社長のグッドアドバイス。企業電話対応コンテストのことを社長は知ります。詳細は各支部HPの最新情報にある「企業電話対応コンテストの紹介動画をご覧ください」をクリックしてください。

すぐご覧になりたい方は、<https://youtu.be/vp0AWSqU2Ew> をクリックしてください。右の画像をクリックしてもご覧いただけます。ぜひ、お知り合いの方へもご案内ください。

現在、7/5（水）ICTセミナー大前さんに学ぼうを企画中です。GW明けには各支部HPにて案内しますのでぜひお申込みください。今月もU協近畿通心を愉しんでいただけると嬉しいです。



1年で山の畑、卒業しました。
嬉しい1年でした。感謝。
5月からは、田舎の鹿児島で
100坪の畑を4年ぶりに再開です。
GWに植え付けします。



【 ICT用語豆知識 「エッジコンピューティング」をご存じでしょうか 】

IoTによりいろんな物がインターネットにつながるようになってきました。

監視カメラや家電製品もそうなっていますね。

今回は、エッジコンピューティングについて紹介します。

エッジコンピューティングとは、ユーザーの端末の近くに**サーバーを分散配置するネットワーク技法**のことです。従来のクラウドコンピューティングはクラウドがデータを集中処理しますが、データが大きくなると処理に時間がかかります。

一方、**エッジコンピューティング**は端末の近くの**エッジサーバーでデータを処理**するため、**システムの負荷が分散し通信遅延の低減が可能**です。

エッジコンピューティングは製造業や農業、小売業といった分野ですでに活用されています。

近年はスマートフォンやタブレットなどの端末に加え、モノがインターネットとつながる「IoT」の加速により、エッジコンピューティングの必要性が高まっています。

IoTの加速でインターネット接続のデータ容量が増大し、ネットワークやサーバーの負荷で通信遅延が起きる可能性があるためです。

エッジコンピューティングは**端末とサーバーの物理的な距離が短い**ことで、以下のメリットが得られます。

○低遅延やリアルタイム性の向上
○セキュリティの強化

○ネットワーク負荷の軽減
○データガバナンスの強化

○データ漏えいリスクの低減

インターネット経由でクラウドに情報を集約するクラウドコンピューティングと比べ、情報の漏えいを防ぎ、セキュリティを高める効果も期待できます。

【ユーザ協会の得意技！ こういう蓄積・ノウハウがあります。岡部達昭先生編】

先月は第103回「人間はことばで生きてきた」（2022.10.17）をご紹介しました。
今回は第104回「繰り返し繰り返し」（2022.11.15）をご紹介します。

人間の一生とは常に新しいものを求めながらも、所詮は繰り返しているだけのようにも思います。
では、「繰り返す」とは何でしょうか。新明解国語辞典には、「出発点に戻ってまた同じ事をする」と載っています。

用例を見ますと、「同じ過ちを繰り返す、一進一退を繰り返す、不毛な議論が繰り返される」などがあります。同じ意味を表す言葉では、「一難去ってまた一難、二の舞、悪循環、しつこい」などが思い浮かびます。こう見てきますと、「繰り返す」は、あまり良い印象の言葉ではないような気がしますね。果たしてそうでしょうか。話しことばの世界では、「繰り返す」はとても大事な言葉であり行動なのです。

「繰り返す」ことの大切さ

不必要な饒舌（じょうぜつ）があるかと思えば、難解でよく分からない解説、言葉足らずの説明などが多い昨今の言葉事情から見ると、言葉を繰り返す表現は、かなり高度な話し方のスキルなのかも知れません。

「上手な話し方」や「伝わる極意」といった話し方のノウハウ本や特集記事には、さまざまなスキルやノウハウが書かれています。「1件2結3詳細」（1に件名、2に結論、3に詳細）、訊いて関心事を引き出す、全体から部分へ、センテンスを短く、抑揚をつけて話す、聴き手の反応を読みながら、聴き手の知りたい順に話す、シンプルな言葉で話す、明瞭な発声・発音力を磨くなど、そのコミュニケーションスキルは多岐に亘ります。それらのスキルを習得して、活かしている方も多いでしょう。ところが、私が不思議に思うことが一つあります。用件や思いを正確に伝えるのに最も単純で容易な方法は「**繰り返す**」ことだと思のです。ところがそのことがあまり重要視されていないのです。**未熟なスキルに頼るよりは、伝えたいことを繰り返すことのほうが、はるかに効果が大きいはず**です。

先人たちの教えの中にも

ブルース・バートン氏書いた「イエスの広告術」には、世界中に多くの信者を惹きつけたイエス・キリストの説法の極意が書かれています。その核となる教えは、「**圧縮せよ（話をしぼれ）、シンプルに、誠実に、繰り返せ**」、という四つです。日本でも、著名な国語学者・柴田 武氏の言葉に、感銘を受けた伝え方の極意があります。「**決める、捨てる、切る、繰り返す**」です。

絞り込んだいくつかの話材を、どんどん捨てなさい。**捨てていって最後に残ったものが一番伝えなければいけないことだ**。それを繰り返しなさい、と柴田氏は力説されます。

アメリカで子育てを経験してきた知人がこんな話をしてくれました。アメリカのママたちの子育てには三つの極意があります。①相手の顔をしっかり見て話す。②ことばに抑揚をつけて話す。③繰り返し繰り返し話す。この三つの指導は、どれも相手に伝えようという気持ちがなくてはできません。

幼児期から、話すのではなく伝えるという意識を大切にするアメリカの教育には感心します。大人になっても表情豊かに話す素地は、幼児の頃から培われているのでしょうか。そしてここにも、「繰り返せ」があるのです。

繰り返すことの大切さを学んだ記憶

繰り返すことの大切さを、最初に私に教えてくれたのは、高校時代に演劇部の顧問をしていた若い化学の先生でした。化学の授業より、部活顧問としての接触が多かったのですが、命の尊さ、哲学、人生論、恋愛論から当時盛んに語られた平和論まで、多岐に亘る指導を受けました。その先生が同じ話をよくするのは、出 隆氏の著書「哲学青年の手記」の、若くして日光華厳の滝に身を投げて自死した青年の話などは、十数回と言わず聞かされました。「先生その話、先日も聴きました」と言いますと、「私が君たちの年に読んで感動した本だ。その感動を君たちにぜひ伝えたいのだ。一回聴いただけで君たちが理解してくれたらどうか。それが心配だから何度も話すんだよ」忘れられない遠い記憶です。

言葉は一回言っただけではなかなか伝わりません。伝言も約束も感謝の言葉も言えば伝わるものではありません。そのために誤解を生み、コミュニケーションが崩れることも多々あります。**必要な依頼や命令、伝言は二度言う。お世話になった時のお礼は日を置いてまた言う。その場でも大事なことは言葉を重ねて伝えるように習慣づける。ぜひ意識してみてください。大事なことは伝えようという気持ちです**。その気持ちなしに、単なる口癖として機械的に言葉を重ねますと、「しつこい！」で終わってしまいます。

【ユーザ協会の得意技！世界規模の課題にデジタル技術で立ち向かう】

前回は「サービスロボットの課題と未来像（2022.11.15）」をご紹介しました。
今回は「世界規模の課題にデジタル技術で立ち向かう（2022.12.15）」をご紹介します。

自然災害の発生件数の増加は、世界的な傾向です。災害大国の日本でも従来は地震に対する備えに力を注いできましたが、近年は台風や洪水、ゲリラ豪雨などによる水害の影響が大きくなっています。



数十年に一度の規模の災害に対して発表される気象庁の特別警報が毎年のように発令されています。

デジタル技術の進展は、私たち一人ひとりの災害への備えをどのように変えようとしているのでしょうか。

21世紀は災害の世紀

「ダボス会議」という会議の名前を耳にされたことはありますか？

毎年1月に、スイス東部の山間にあるダボスという町で開かれている国際会合です。世界の主要国から政治家や企業の経営トップなどが参加して、さまざまな世界的課題を議論しています。ダボス会議は、同じくスイスに本拠地を置く非営利財団の世界経済フォーラムが主催しています。

世界経済フォーラムでは、毎年「グローバルリスク報告書」を公表しています。

2022年に発表された報告書では、今後10年間で最も深刻な世界規模のリスク上位五つに、①気候変動への適応への失敗、②異常気象、③生物多様性の喪失、④社会的結束の侵食、⑤生活破綻を挙げています。

2021年の報告書では世界規模のリスクのトップは感染症でしたが、コロナ以前からのトレンドとしては①②に代表される気候関連の項目が上位を占めています。

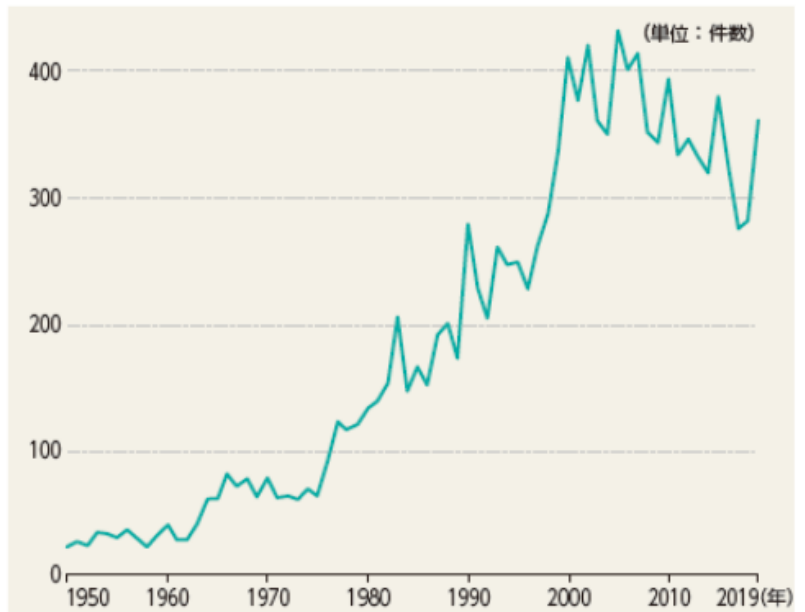
私たちの日常でも、夏は40度超えも珍しいことではなくなり（筆者の子どもころは35度を超えたら大変！というような感覚だったと記憶していますが）、梅雨末期には大雨が降る、というのも一般的な認識になってきているように思います。

グローバルリスクで挙げられた気候変動や、異常気象と自然災害の発生には密接な関係があります。

このコラムでは、自然災害に対応するために私たち一人ひとりが、どのようにデジタル技術を使っていけばよいのかを考えていきます。

図1は、1950年から2019年までに世界で記録された自然災害の件数の推移です。“21世紀は災害の世紀”と言われている理由がお分かりいただけるかと思います。

【図1：世界の自然災害発生件数の推移】



1950年から2019年までに世界で報告された自然災害発生件数の推移。これには、干ばつ、洪水、異常気象、異常気温、地滑り、ドライ・マス・ムーブメント（土塊や岩塊などの乾燥物質の斜面下方移動）、山火事、火山活動、地震などが含まれます。

出典：EMDAT (2020) : OFDA/CRED International Disaster Database, Université catholique de Louvain - Brussels - Belgium
OurWorldInData.org/natural-disasters・CC BY

デジタル技術が災害の事前準備と事後対応を変える

毎年、世界では300～400件近い自然災害が発生していて、日本に住む私たちの日常生活にも大きな影響をもたらしています。

図1を見ると2000年前後を境として急激に発生件数が増えています。ただ、20年前の私たちと2023年の私たちには違いもあります。

デジタル技術です。日本では、iPhoneが発売された2008年以降、私たち一人ひとりがインターネットに接続し、いわゆる“アプリ”を使って生活に関するいろいろな活動をする環境が急速に普及しました。LINEやeメール、SNS、読書・宅配アプリや決済など、スマートフォンがなければ生活できないという人が増えてきています。

デジタル技術は自然災害に対する私たちの備えや事後対応の在り方をガラリと変えようとしています。

災害対応は、①減災、②事前準備、③事後対応、④復旧・復興の四つのフェーズで語られることが多いです。

それぞれのフェーズでデジタル技術が活用されていますが、私たちの生活に特に関わりが深いのは②事前準備と③事後対応です。

例えば、事前準備×デジタル技術の事例で、日本が世界に誇れるものはエリアメールや緊急速報メールです（提供する企業によって呼び方が異なります）。自然災害が迫っている時、気象庁が特別警報を出します。台風が近づいている時や地震が起こると予測された時などにご自身のスマートフォンあるいはガラケーにメッセージを受信されたことがある方もいらっしゃると思います。このように、災害が発生する前に災害のリスクを国民一人ひとりに伝える仕組みは世界にまだ例が少なく、日本人で良かったと思える瞬間です。ただ、執筆時点で、気象庁から気象に関する特別警報メールは2022年12月に終了するとのアナウンスがありました。

12月以降は、民間が提供する防災アプリとの連携強化による情報伝達に移行することが発表されました。

この点については、次回以降のコラムで述べたいと思います。



2019年の台風19号時に発出された気象庁からのエリアメール/緊急速報メール

理想の暮らしに近づくために

私たち一人ひとりがデジタル技術を活用する環境が普及して、災害に対応するためのさまざまなデジタルサービスが提供される社会となる中で、利用者は災害×デジタルサービスにどの程度のニーズを持っているのでしょうか？

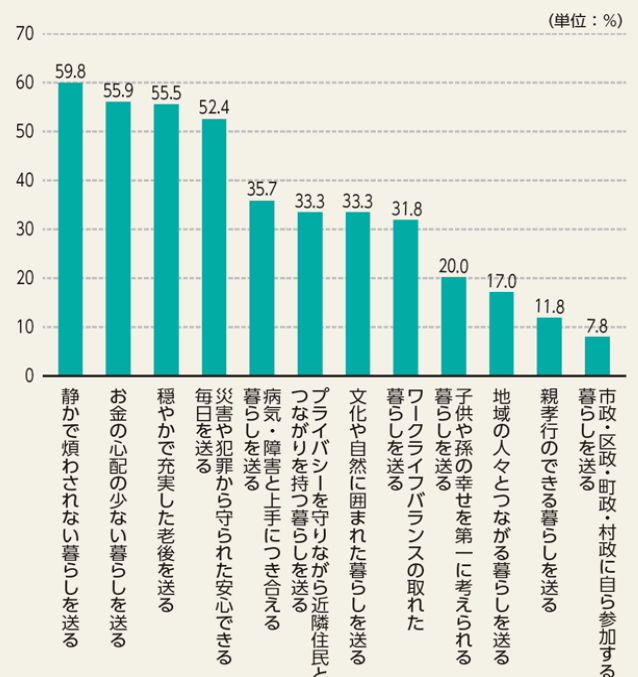
筆者が2021年実施したデジタルガバメントのニーズ調査（オンライン調査）で、理想の暮らしを尋ねました。

回答者は4,000人強です。そのおよそ半数が回答したのは、「静かで煩わされない暮らし」「お金の心配の少ない暮らし」「穏やかで充実した老後」「災害や犯罪から守られた安心できる毎日」の4項目でした（図2参照）。より深く分析していくと、「災害や犯罪から守られた安心できる毎日」と回答した人々は、デジタル関連サービスの利用意向を高く持っていることが分かりました。

理想の暮らしに近づくために、デジタル技術が果たす役割は大きいと言えます。

【図2：理想の暮らし】

Q 現在のお住まいの地域で、どのような暮らしを送りたいですか？ 当てはまるものをすべてお選びください。(n=4,129)



【お役立ち情報：第4の波ってご存じですか。】

昨年5月にICTセミナー大前さんに第4の波（サイバー社会）に向けた国家戦略を学ぼうを開催しました。その概要はU協近畿通心VOL.64（2022.07.01）に掲載しました。ご覧になった方も多いのではないのでしょうか。

今年2/28にこの講演内容に他の執筆活動も加え出版された本をご紹介します。GWに読んで見られたらいかがでしょうか。

帯に、「**日本人はまだ知らないAI&スマホ革命の本質**」とあります。結構刺激的な帯ですね。

AI（人工知能）を駆使した新サービスの登場で、シンギュラリティの到来は予想以上に早まっています。ChatGPTの出現で余計にそう感じさせられます。

40年前未来学者のアルビン・トフラーは世界的ベストセラー『第3の波』において、近現代の文明を支配していた巨大な潮流と、1980年代以降の世界の変化の波をもの見事に分析されていました。私は当時読んだことを覚えています。

トフラーは「**第1の波**」＝農業革命、「**第2の波**」＝産業革命に続き、「**第3の波**」＝情報革命によってもたらされる**情報化社会の到来を予見**していました。

そして今、トフラーと親交があり、互いを認め合った世界的経営コンサルタント大前さんが（世界中の講演でよく一緒になったと言われていました。）、トフラーに代わって、最新の世界潮流を解説されています。

「現在は、トフラーが生きていた時代には予想すらされていなかった技術やシステムが登場し、「第4の波」というべき全く新しい社会が到来している。もし今もトフラーが生きていたら、この「第4の波」について考察し、新たな著書を執筆していたに違いない。だから、亡き友に代わって私がそのテーマに取り組みたいと考えたのである。」と大前さんは言われています。

「**第4の波**」とは何か？それは21世紀に入って劇的に進化した「**AI（人工知能）&スマホ革命**」が世の中にもたらす**変化**であり、21世紀は、いち早く**この波の特徴を捉えた者が富を独占**します。しかし、AIが人類の知能を超える「シンギュラリティ（技術的特異点）」へと達する「第4の波」の後半には、**大規模なレイオフ（解雇）が発生**すると予想されています。この解雇はすでにGAFAMでは始まっているのかもしれませんが。

果たして、この「**第4の波**」の激変の中で活躍できるのは、どのような人材なのか？そして、AIに置き換えられない仕事とは何なのかについても記載されています。

<目次>

プロローグ 未来予想は「希望」となる

序章 「第3の波」すら超えられない日本

第1章 「第四の波」となにか
基調セミナー “第4の波”に向けた国家戦略

第2章 「将来不安」は解消できる
基調セミナー “人生100年時代”における国家戦略

第3章 生き残りのカギは「スパイク型」
基調セミナー 自社の強みを徹底的に尖らせる経営戦略

エピローグ 今こそ子供に“スマホ構想力”を



はじめまして。
お絵かきムービークリエイターのともわか工房 若林とも子です。

お絵かきムービーとは、
ストーリーとホワイトボードを使ったイラストで
あなたの魅力や想いをわかりやすく
表現するものです。



人の心を
つかむには..

ストーリー性がある
USJやディズニーランドも
キャラクターひとつずつに
ストーリーがありますよね

親しみやすい

共感

動くものは目で追う
脳の仕組み

感情と理性に訴える

限定感を出す



それらの条件を満たすお絵かきムービーは
あなたが主役の映画の様なものです。

【お仕事例】

YouTube 検索

大阪府公式チャンネル

[【大阪府公式】民生委員・児童委員ってなあに?? - YouTube](#)

大阪府社会福祉協議会

<https://www.youtube.com/@user-wf5if6kl4g>

ともわか工房

<https://www.youtube.com/@tomowaka607>

プロフィール



嵯峨美術短期大学染織科卒業

文具メーカーのイラストレーターとして勤務

3人の子供の子育て中に作った絵本

『お母さんはめっちゃ忙しい』出版。

2,500冊完売。

現在、一般社団法人国際自分ストーリー協会認定

お絵描きムービークリエイターとして活動。

森林インストラクターの資格を取得

ともわか工房HP



<https://www.youtube.com/@tomowaka607>

【お役立ち情報：GW中、充電にいかがでしょうか。】

ゴールデンウィーク、長い人は9連休でしょうか。皆さん、GW中に充電考えていらっしゃいますか。

私は2つ充電しようと2冊本を注文しました。さっそく届きました。最近ネット注文すると早いですね。便利です。

一つは、BBTのビジネスアウトプットGYMにてでてきた「**論理思考とジョブ理論 ～様々なリトルハイアを考える！～**」に興味を持ち注文しました。

講師・インストラクターは**実践「ジョブ理論」**著者早嶋 聡史さん。「新規事業の立案や既存事業のブラッシュアップは企業として常に追求すべき取組です。マーケティングで注目されるジョブ理論を論理思考を活用しながら新規と既存のアイデアを整理し、日常業務で活用するスキルを身につけます。」という内容の本です。

<目次>

第1部 What ジョブ理論とは？

(ジョブ理論とは何か)

第2部 Why なぜジョブ理論が注目されるのか？

(ジョブ理論が注目される背景を理解する)

第3部 How ジョブ理論を実践する

(ジョブを見つける際の心構え；顧客；特定の状況；成し遂げたい進歩；障害；組織；B2B（法人ビジネス）への応用ジョブ理論を実践するフレームワーク)

2つめは、元々地域創生にも関心があり、こんな素敵な街作りできないかなと思っています。大前さんから聴いたスペインサン・セバスチャンの美食の街は食いしん坊の私には魅力的で妻を連れていってみたいかなと思っています。

コロナ禍でもあり、なかなか行けないでいますが、GW中にもっと知りたいとこれも大前さんの講演の中で知った本です。

さっそくゲット。スペイン・バスク地方にある人口18万人の小さな街、サン・セバスチャン。ここは世界中から美味しい物を求めて人が集まる「**美食世界一の街**」として知られています。ご存じでしょうか。かつては高級保養地として知られていましたが、世界遺産などの観光資源もとくになかったため、この地を訪れる観光客は低迷していました。そんな街が凄いいなっています。

背景には美食を売りに出す徹底した地域戦略がありました。

サン・セバスチャンでは、あたかもシリコンバレーがIT産業に特化したように、**料理を知的産業**として売り出しています。

年収1千万円のシェフを10人（都合1億円）集めて食の街で地域創生できないかと今は休眠中のBBT Tourism Leaders School（観光経営のプロフェッショナル育成講座）のお手伝いしている中で考えていました。製造業だけでは限界にきている日本の活路は観光業にあると考えています。日本が観光立国となるために、サン・セバスチャンに学ぶ、自分の田舎でこれをやったらどうなるかGW中に構想してみます。



<原稿大募集しています！>

あなたの知識や経験等が他の会員さんのお役に立てば、嬉しいですね。

いつでも待ってま～す。写真等も大歓迎です。

送り先：f.kawabata@jtua.or.jp（川畑）までファイル（A4）を送ってください。

セキュリティの最新情報も
アップデートできます。
支部HPにて絶賛募集中！

あの講話がこの価格で聞けるなんて。

ユーザ協会
限定特別価格

BBT研修プログラムはコチラから



撮影/大田真三(小学館)

この値段でこのパフォーマンスにびっくりです。

あの大前研一さん率いるBBTの研修がユーザ協会会員様特典として利用いただけるようになりました。

BBTのコンテンツの中から、協会会員様のために特に選びました。
「見て学ぶ」と「参加して学ぶ」があります。

見て学ぶ

ビジネス講義映像

ブロードバンド・ラーニング(BBL)

詳細・お申込みはこちら



<経営者講義 - 19 講座>

定価33,000円(税込)を当協会
会員様は**1割引29,700円(税込)**で
ご視聴いただけます。

どの講座も大前研一さんの講演以外に業界の最先端に行く経営者の
講演が盛りだくさん！ これからの経営のヒントがたくさんあります。

参加して学ぶ

詳細・お申込みはこちら

5,500円(税込)
でご視聴いただけます。



みんなで脳に汗をかこう！！

ビジネスアウトプットGYM

いつでも学べる動画で「インプット」し、
LIVEトレーニングで「アウトプット」

まるでスポーツジムに通う感覚で、
ビジネススキルをオンラインで鍛える

詳細はこちら！

<https://wstg-bbt.staging-bbt757.com/corporate/sd/063jtua/index.html>



<近畿 6 支部限定プレゼント>

新規ご入会様、既存会員様

本特典ご利用で「DX革命(大前研一著)」を
プレゼントいたします！

後日、連絡責任者様へ送付させていただきます。